

様々な背景・特性をもつ子どもたち ～発達障害の特性理解・愛着障害の理解～

NPO法人み・らいず2

野田満由美（臨床発達心理士・精神保健福祉士）

この時間に学んでほしいこと

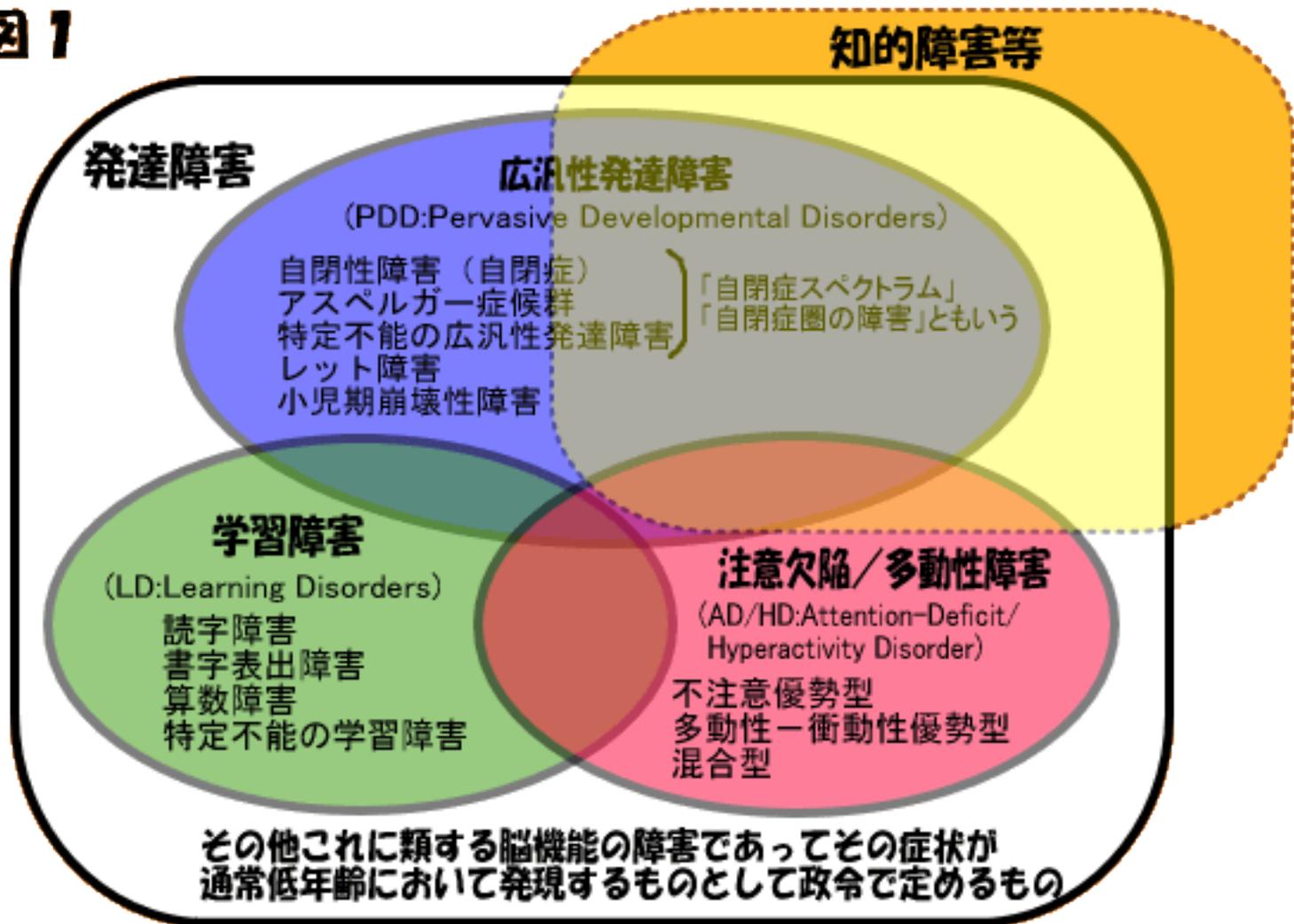
- まずは「発達障害」「虐待」「愛着障害」について知ってみる。
- そして、子どもたちをどのように支援していけばいいか考えてみる。

発達障害とは

- 「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。
- 「発達支援」とは、発達障害者に対し、その心理機能の適正な発達を支援し、及び円滑な社会生活を促進するため行う発達障害の特性に対応した医療的、福祉的及び教育的援助
(発達障害者支援法より)

発達障害のありよう

図1



診断基準について

DSMIVより	DSM Vより
<p>●広汎性発達障害(自閉症・高機能自閉症・アスペルガー)</p> <p>①対人的コミュニケーションの質的障害</p> <ul style="list-style-type: none"> * 言葉の発達が遅い * オーム返し * 話の流れがわかりづらく、字義通りに捉える <p>②社会的相互交渉の質的障害</p> <ul style="list-style-type: none"> * 視線が合いづらい * 情緒的交流がもちづらい <p>③常同的・反復的な行動、関心、活動</p> <ul style="list-style-type: none"> * 興味関心の偏り * 同じパターンの行動を好む <p>●学習障害</p> <p>●ADHD</p> <p>感覚過敏の問題</p>	<p>●広汎性発達障害→自閉症スペクトラム障害(自閉症スペクトラム症)</p> <p>Aブロック(①対人的コミュニケーションと②相互作用の障害)</p> <p>対人的情緒的操作</p> <p>対人相互的な非言語コミュニケーション(視線や表情等)</p> <p>状況にあった関係づくりの障害(ごっこ遊びや居合わせたグループ内での関係づくりが困難、中目の関心が薄い)</p> <p>Bブロック(③限局された反復する行動や興味こだわり)</p> <p>エコラリア、常同・反復行為</p> <p>同一性へのこだわり(儀式)</p> <p>著しく限局された興味</p> <p>感覚刺激の反応亢進または低反応</p> <p>* アスペルガーという分類がなくなる</p>

表出する「問題行動」

	問題行動 (氷山の見える部分)	根に有る認知障害 (氷山の水面下)
1	多動	不安と自信のなさの現われ。 じっとしているとどうしても自分の気持ちと向き合ってしまう、絶えず動き回ることにより不安な気持ちをまぎらわす。
2	奇声	不安の叫び。 喜びに対してもブレーキがかかりがちの子どもはうれしい時にも奇声になってしまうことがある。
3	こだわり	それをしないと何か落ち着かない。あるパターンの儀式(習慣)をすることによって心の安定をはかっている。一定のパターン化した行動に没頭することにより不安を鎮めている。
4	パニック	苦しい気持ちを表現せず抱え込んでしまう傾向のある自閉症の子どもたちは、ちょっとした、例えば、好きな遊びを止められた、何かをするように働きかけられた、自分の思いが伝わらない、等々、日常の色々な事がパニックのきっかけになり、心いっぱいになった気持ち・苦しさが爆発してしまう。直接の引き金となった出来事だけではなく、そのウラにある長い間溜め込んだ気持ちの方を探ること。例えば、ミニカー並べが好きで(←こだわり)所構わずミニカーを並べ(←自分の行動が周囲の迷惑であることを理解出来ず全く気にせずにいる)遊びを止められると気持ちが激しく乱れる。(←コミュニケーションの不調)さらに「なだめられること」や「気持ちの切替え」もうまくいかず、ついにはパニックに陥ってしまう。
5	自傷	自信の無さの現われ。自分に対する怒りの表現でもある。 怒りの抑圧が強い自閉症の子どもたちは、その怒りがもろに自分自身に向いてしまう。

表出する「問題行動」

	問題行動 (氷山の見える部分)	根に有る認知障害 (氷山の水面下)
6	他害	<p>周囲の人に対する攻撃は恐怖の現われ。</p> <p>自閉症の子どもたちは相手の感情が解からないので、聴覚過敏で泣き声が嫌いな自閉症の子どもは、泣いている子どもをたたきに行くこともある。</p> <p>他害は「友だちと関わりたいけれどうまく関われる自信がない」という悔しさの現われでもある。</p> <p>「やってはいけない」と分かっているにもかかわらず感情を自分で抑えられず、強く叱ると、自分では止めることができないジレンマからパニックを起こしたり、自傷行為が出たりする。</p> <p>人との関わりを持ちたいためか、人の叱責を引き出すような挑発をわざとしてくるようなとき、強く叱責するとかえってエスカレートする。</p> <p>相手を理解出来ないなので、相手を怒らせ反応を見て安心する。</p>
7	おうむがえし	<p>相手の言葉が理解出来ないけれど相手が応答を期待しているのは分かって、とりあえず相手の言葉を繰り返してみるがどうすればいいのか分からずフラストレーションがたまる。</p>
8	脱衣	<p>特定の肌触りへの触覚過敏。ある下着をサンドペーパーと感じたり、新しい下着をごしごと感じたり、縫い目を針のように感じたり・・・</p>
9	偏食	<p>口の中の触覚過敏という場合も・・・</p>
10	タイムスリップ	<p>中学になってから突然3才の時のことを思い出して怒りだしたり・・・思い出すとその時の気持ちになりきってしまう。</p>

TEACCHプログラム

Treatment and Education of Autistic and related Communication handicapped Children

(自閉症及び近縁のコミュニケーション障害の子どものための治療と教育)



タイムタイマー(時間を視覚化)

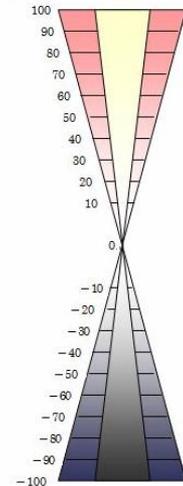
<構造化>

- 周囲の人達が自閉症の人達に歩み寄り、自閉症の人達がその場面で何をすればよいのかを理解し安心し自立して行動出来るように環境を視覚的に分かりやすく整理、再構成、構造「明確」化し、自閉症の人達の適応能力の不足を補完する。

自閉症の人達は、「～かもしれない」という予測を立てて行動することが難しく、これから起こる事も予測出来ず不安で混乱するのであって、視覚優位の自閉症の人達が目に見える形(絵カードなど)で分かりやすく提示し今何をどうするのかという予測が可能にようにする。

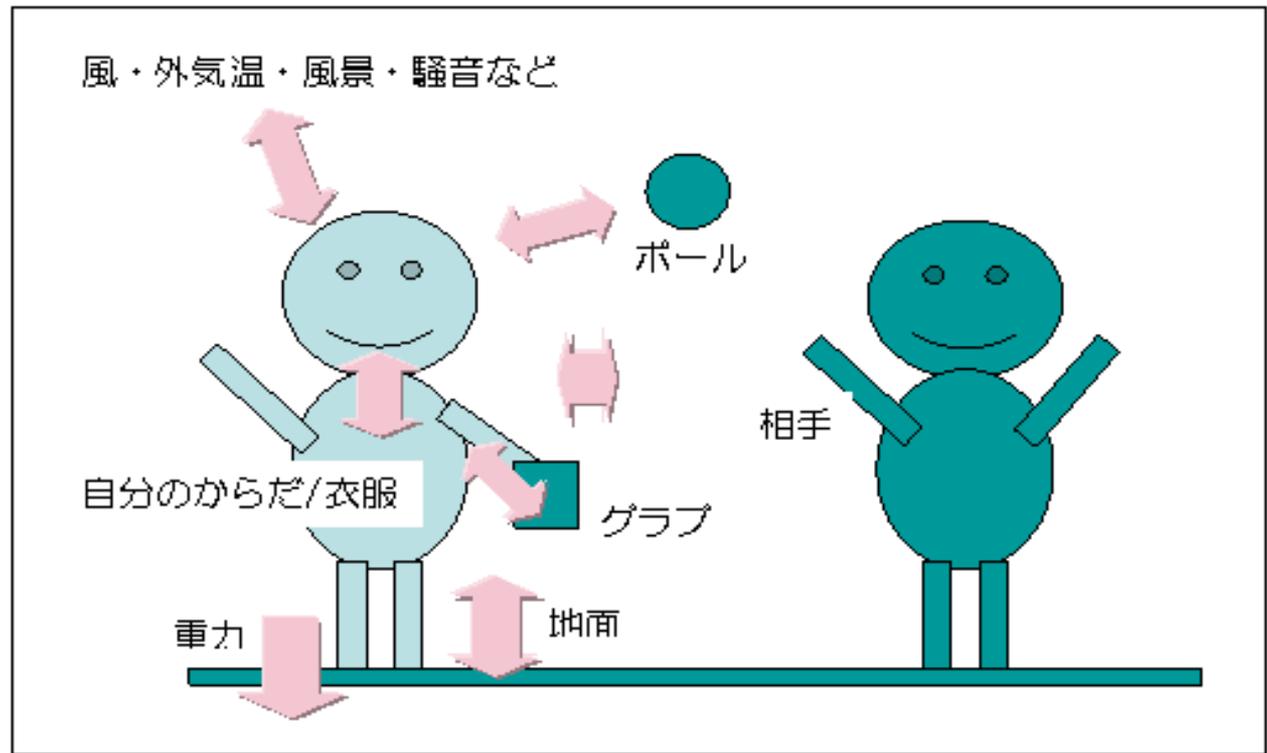


ワークシステム



気持ちの温度計
(気持ちを視覚化)

感覚統合



※ キャッチボールをしている場合、たくさんの感覚が脳に入ってくる（上記図参照）。たくさんの感覚を脳でうまく整理すること（＝感覚統合がうまくいくこと）で、ボールをキャッチすることが出来る。逆に、感覚統合がうまくいかないとキャッチボールがうまく成立しない。

ex) 眼でうまくボールが追えなかったり、からだをうまく動かせない。
騒音や服の素材の感触が気になる、違うものに目が向き集中ができない、など。

感覚の種類

触覚 皮膚で感じます。危険を察知したり、触って何かを確かめたり、痛み、温度、圧迫などの情報を脳に伝えます。

固有受容覚 筋肉、腱、関節などで感じます。手足の位置や運動の様子、物の重さなどの情報を脳に伝え、姿勢を保持したり、体をスムーズに動かすために働きます。

前庭感覚 耳の奥の前庭器官で感じます。平衡感覚ともいわれ、頭の傾きや動き、スピード、重力を脳に伝えます。目の動きに関連する働きもあります。

●感覚統合が上手く行われていない場合に生じる問題

① 落ち着きがない

- 周りの刺激（感覚入力）にすぐに反応してしまう。
- 注意、集中ができない など

② 触覚、前庭感覚、視覚や音刺激に対して過敏である

- 触られることを極端に嫌がる。
- ブランコなど大きく体が揺れたり、不安定になることを極端に怖がる。
- 新しい場所が苦手。
- ドライヤー、泣き声など特定の音が嫌いである など

③ 感覚刺激に対して鈍さがある

- 頭を叩いたり、自分から強烈な刺激を求める。
- 体の痛みに気づかない
- 声をかけても気がつかない など

④ 動作の協調性の問題（不器用）

- 跳び箱、縄跳びやボール投げなどが大きな運動が苦手。
- ひも結びや箸の使い方など細かな運動が苦手

など

⑤ 言葉のおくれ

- ことばが出ない。
- 目が合わない、振り向かない。
- 自分が思っていることをうまく言えない。
- 助詞の間違い

など

⑥ 対人関係

- 友達と上手く遊べない
- ルールの理解ができない

など

⑦ 自分の行動をうまくコントロールできない

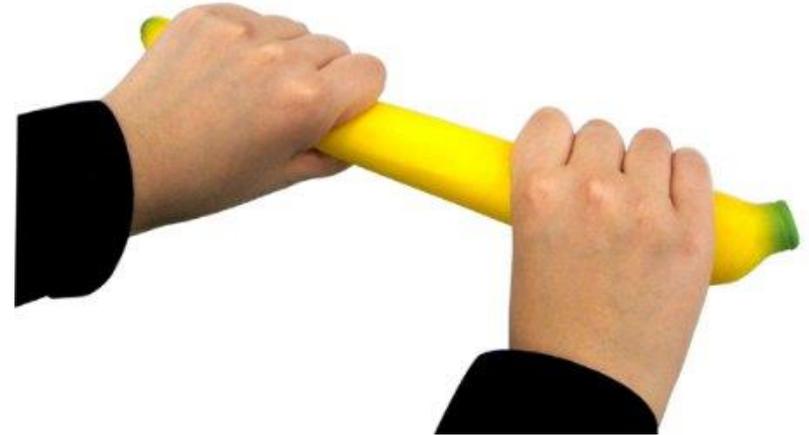
- 待てない、すぐに怒るなど衝動的な行動をする。
- 気分の切り替えができない、こだわりがある

など

⑧ 自分に自信が持てない（心理的問題、二次的問題）

感覚統合に問題があると、いろいろな活動に対して、失敗することが多くなります。周りからは「怠けている」「甘えている」といった見方をされることも多くあり、その結果、子供は自信がなくなり消極的になったり、逆に投げやりになったりすることがあります。

感覚統合



Pacific Supply

感覚統合器具スタートセット ブロンズ  送料別途

これから感覚統合に取り組まれる方へ 使い勝手の良い器具をセット



① ② ③ ④ ⑤

※オーシャンスイングに背板は付属しません



児童虐待

- ①身体的虐待
- ②心理的虐待
- ③性的虐待
- ④ネグレクト
- ⑤経済的虐待

愛着障害

生まれて2年目までに形成される通常の母子間の愛着形成。通常の愛着が2・3年以内に形成されない場合には、愛着は遅れて形成される。

①抑制型

人との関わりを避ける・感情を抑え込む

②脱却性型

他人への愛情過多、愛情の強要

二次障害

① 外在化障害（対他者）

反抗的な態度や・暴言暴力・反社会的行動

（犯行挑戦性障害・行為障害など）

② 内在化障害（対自己）

不安や気分の落ち込み、対人恐怖、ひきこもり

（不安障害・気分障害・強迫性障害など）

まとめ

- 発達障害者・児の生きづらさは何か？
 - ①その人自身の特性
(想像力・感覚過敏→コミュニケーションの障害)
 - ②特性から来る人間関係
 - ③社会との不適應

- 子どもの成長を阻害するものを予防していけたら